

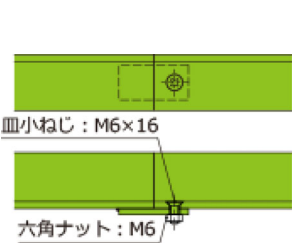
ツリーキーパー用 アングル受枠・タイル用 FAR・FAS 施工要領書

2022年9月28日 管理番号：TK1-202209287 製品分類：ツリーキーパー(樹木保護蓋)

第一機材株式会社

施工手順

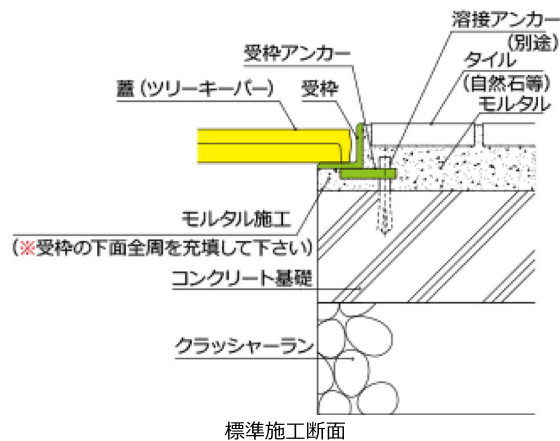
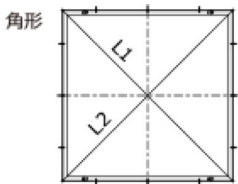
- ①コンクリート基礎を打設します。
②受枠分割部を付属の皿小ねじ・六角ナットで連結して、仮止めします。（先に樹木がある場合は、基礎上部に仮置きして下さい。）



皿小ねじ・六角ナット梱包数量

形状	型 式	数量
丸形	FAR-9A, FAR-10, FAR-12, FAR-15	2
	FAR-18, FAR-20, FAR-1915	4
	FAR-1910	8
角形	FAS-9, FAS-12, FAS-15, FAS-18, FAS-20, FAS-21, FAS-154, FAS-1711, FAS-2112	4
	FAO-159, FAO-168, FAO-1812, FAO-2115	
	FAS-75A	2

- ③受枠の外径・対角寸法をコンベックス等で計測をして、歪みがないように調整します。
（右図で、 $L1 = L2$ となるよう調整）
受枠のレベル（高さ）を調整したうえで皿小ねじ・六角ナットの本締めを行います。
（先に樹木がある場合は、外径・対角寸法はあらかじめ仮組をして計測して下さい。）



- ④受枠アンカー位置に合わせて溶接アンカー（別途）を施工します。
あらかじめ打込み位置をコンクリート基礎に印を付けて、受枠を一旦コンクリート基礎から移動させて、溶接アンカーを施工します。
- ⑤受枠を溶接アンカーに固定後、受枠外部の舗装および受枠下のモルタル施工を行います。
※注：受枠下のモルタル施工は受枠補強の観点から必ず行って下さい。
- ⑥受枠内面の清掃を行い、蓋（ツリーキーパー）を設置して完成です。